

日本計量新報

計測と科学
発行所：日本計量新報社
〒100-0001 東京都千代田区千代田1-1-1
TEL: 03-5561-1111 FAX: 03-5561-1112
〒100-0001 東京都千代田区千代田1-1-1
TEL: 03-5561-1111 FAX: 03-5561-1112

Yamato
業界初の振動除去機構を
搭載で作業効率アップ
デジタル式上皿自動はかり

“UDS-1V/1VD”



天和産業株式会社
電話 03(078)918-9577

なるという面も否めない。主体が代わるにあたっては、その手順と根拠を明示するべき、という発言が出た。

多分野に拡大する 民間活力導入

計量行政の見直しを審議する第3回計量制度検討小委員会が2月21日午前、経済産業省別館1028号室で開かれた。3つのワーキンググループ(WG)がまとめた骨子が、各座長と事務局から提示された。計量士制度、特殊容器制度、計量単位及び情報提供といったWGを横断するような事項についても、見直しの方向性が示された。委員は骨子案を大筋で了承するものの、第1WGの分野である特定計量器の規制対象見直しに対しては、慎重論や異を唱える意見も相次いだ。各WGは今回提示された意見を持ち帰って検討する。WG会合の進展を受け、次回小委員会は4月下旬から5月にかけて行う。

計量制度見直し 第3回計量制度検討小委員会開く

委員は骨子におおむね理解、特定計量器規制対象に意見集中

今回から、矢橋有彦日本電気計器検定所理事長の退任に伴い、後任の大野隆夫理事長が委員に着任した。

今回は、各WGがまとめた骨子のほか、WGを横断するよつな事項についても討議された。

前回議事録が異議なく承認された後、まず計量士制度、特殊容器制度、計量単位、情報提供について、方向性が示された。

WG横断事項

計量士制度について、計量士は国家資格でありながら、一度登録すると資格返上の制度がないため、実際に計量士として活動している人数がどれ

だけいるのか、行政側でも把握していない。一定程度の資質の維持を図る観点から、資格の更新制と、更新時の研修を義務づける案を検討する。

また、民間能力活用の方針から、たとえば都道府県の条例を整備し、指定定期検査機関における計量士の活用も期待できるのではないかと、試験事務にあたっては、独立行政法人の活用を視野に入れており、登録事務についても独立行政法人の担当を検討する。

これに対し、一般計量士の適正計量管理事業所や行政機関代行などといった職域拡大を歓迎する声が上がった。地方自

治体の立入検査も職域に含めたい、という提案には、公正・中立の保持を第一に心がけるべき、という意見が出た。計量士の活動実態を把握するため、全国組織への加盟を義務化する提案もあった。独立行政法人への委託を検討する方向については、広く民間一般を対象とするべき、また、登録更新時の講習は、実績ある民間団体に任せるといふ意見が出た。

特殊容器制度は基本的に廃止の方向で検討しているが、とくに異論はなかった。

計量単位については、SI(国際単位系)に素早く対応できる仕組みの構築、教育現場や広く一般へのSI浸透を時間をかけて行っていくべき、という意見が出された。尺貫法への柔軟な対応を求める声もあった。

情報提供については、計量に対するクレーム窓口の存在を積極的に周知するべきという意見があった。これに対し事務局からも、前向きに検討しているという回答がされた。

MRA IAJapan JCSS 0165

当社は、測定基準としてJIS Q 17025 (ISO/IEC 17025) を採用し、測定システムもISO/IEC 17011 に従って運用されているJCSSの下の認定を受けています。JCSSが運用している測定機関 (IAJapan) は、アジア太平洋試験所認定協力機関 (APLAC) 及び国際試験所認定協力機関 (ILAC) の相互承認に署名しています。

分銅・おもりのJCSS校正と各種精密分銅の供給メーカー

JCSS校正は短納期且つ適正価格で行います。

懇話会にお問合せ下さい

〒304-0031茨城県下妻市高道根4219-2
TEL(0298) 43-7021 FAX(0298) 43-8150
http://www.taisho-balance.co.jp

株式会社 大正天びん製作所

今週の主な記事

第3回計量制度検討小委員会開く
資料・第3回計量制度検討小委員会
寄稿・平井外成氏、JCSS登録事業者
あいち計測研究会座談会(私の履歴書 齊藤勝夫(107)、社説 計量ひびくちも
計量士国家試験、佐藤計量器・防水型温度計発売
長野計器・校正範囲拡大、A&D・一部上場へ

①⑤面
②③④面
⑤面
⑥面
⑦面
⑧面
⑧面

器の規制対象見直しについて、意見が集中した。とくに、安心・安全を危惧する消費者団体代表から、規制対象外になる計量器への不安が叫ばれた。これを受け、主体が代わっても安全が維持できれば問題はないが、代わることで安心できなく

(6)面へつづく

計量制度検討小委員会開く

(①面のつぎ)

第2WG

第2WGで扱う量目規制について、都道府県の計量担当者が実状を交えた意見を述べた。職員が減少傾向にある中、地方自治体は監視機能に特化するという方針は時宜を得たものである。

第3WG

第3WGの骨子のポイントは3つ。産業技術総合研究所計量標準総合センター(NMIJ)を国家計量標準機関の頂点と位置付け、計量標準に関する国内外のさまざまな機関と調整する機能を明確化する。ユーザーニーズに配慮する形で、海外や産業界内での標準を迅速に取り入れる準国家計量標準制度の創設。特定計量証明事業者制度(M-LAP)の改善。

都道府県のアンケート結果でも、指定検査機関を利用したいとする意見は7割を超え、立入検査への民間計量士の活用についても賛否が半数ずつである。責務を明確化した枠組みを構築し、行政の補助という観点で、計量士の利用も視野に入れていいのではないかと期待した。

骨子に対する委員の感触もおおむね良好で、標準供給を国のお墨付きと実用フィールドの2本立てにすることの実効に期待した。

JCSS登録事業者

2005年9月～12月

製品評価技術基盤機構(NITE)は計量法トレーサビリティ制度のJCSS校正事業者を登録した。事業所名・認定番号/登録の区分/計量器等の区分/事業所所在地の順

西試験センター00071/音響・超音波/音響測定器/大阪府東大阪市水走3-8-19(株)ミット

折率/浮ひょう/東京都北区滝野川3-7-1(株)大正天びん製作所

0128/力/力計/大阪府大東市御領1-9-17(株)松下電器産業(株)半導

どうなるの

計量士

平井外成

ケイタイデンワやコンピュータが進んでくるところが、世の中に厳しく、計量士はいつなるかと想う。

護ってきたようである。ところが、世の中に厳しくなる、例えば愛知県の場合、計量士の役員は全部民間になったのである。他の県は知らないが、民間人の力が強くなり、もう少し力を入れてみようかと想う。

いろいろな人が、若い人が少ないことである。未来がないのであろうか、計量士になっても若い人が名乗らないのであろう。このことも気になる。

もうひとつに、若い人が少ないことである。未来がないのであろうか、計量士になっても若い人が名乗らないのであろう。このことも気になる。

工場、生産業になる業者は、人を置き、わけのわからない規則等を基に動かす、努めている。

代検については!! 計量士に代検がある役所では、とにかく、この制度があるので従っただけでいいが現状である。全国ではどうなっているのか知らないが、愛知県名古屋市の場合、かなり進んでいることは間違いないのである。特定市の多い愛知県は、新しい市になつてどうなるのか気になつてくるのである。しかも、なるのである。しかも、やるしかないのではないかと、民間活用の最たることにならないうと、どの市も県も、どうにもならなくなつてくるから、県や市に早いこと、予定を

出すことである。それに対して答えるのが、計量士だと考える。代検だけはガンバルしかないのだと思う。

いろいろなことがあり、時代が変わる今日今頃、計量士たる者が、法律とか消費者に、惑わされることなく、話し合つて、時代に逆らうことなく解決していかなければならない。

私の場合、どうするか、自分の智が衰えてきたので、淋しい思いをし、それでも強く生きていきたいのである。

と、法律にしろ、どうなるのか疑問になる。これも、民間の計量士だからかもしれない。民間というものは、公の人に一步

企業のこと、変わりつつあるということである。はっきりのこと、自動車「トヨタ」のこと、悪く言えなくなったのは、公の人に一步

後、どうするか、どうあるべきかを考えたい。流通業の課題

消費者について考えてみる。今までお客様である計量士となるのが大切である。ISO・JIS化の課題

流通業は、いろいろなことがあることは知っているが、相談される計量士が、相談される計量士が、良い人だと思つて、消費者をお客様、おそれない、ちゃんとした相談される計量士となるのが大切である。

ISO・JIS化の課題

ISO・JIS化の課題

ISO・JIS化の課題

ISO・JIS化の課題

ISO・JIS化の課題

ISO・JIS化の課題

ISO・JIS化の課題

ISO・JIS化の課題

ISO・JIS化の課題

ISO・JIS化の課題

ISO・JIS化の課題

ISO・JIS化の課題

ISO・JIS化の課題

持ち運べるトラックスケール

ロードメーター RW-Pシリーズ

- 基礎工事不要!
- 過積載防止に!
- 産業廃棄物計量に!
- あらゆる計量に!

